

事務事業名	中学校運営事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	義務教育グループ	課長名	伊藤 慶
施策名	〈26〉学校教育の充実	担当者名	堀江 亮次	電話番号	0854-40-1072
目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	(内線)	2281
基本事業	〈079〉学校の施設・設備の充実	予算科目	0150-1-1	大事業名	01中学校運営事業 03中学校教育振興総務管理事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。	中事業名	各中学校管理事業 中学校教育振興総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
生徒 教職員	生徒に快適で良質な教育環境を提供する。 学校経営の健全化を図り、効率的な事務を執行する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	中学校の運営事務を行う (光熱水費・事務用機器等リース料は含まない。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・支払事務を行う(学校事務) 各中学校の運営費(備品、消耗品等)並びに児童の教育に要する費用	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 学校へ配分をしていた予算のうち、予算残高が不足すると、影響がでる費目については、学校教育課で一元管理としている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 生徒一人当たりにおける決算額	千円	13.7	13.5	16.9	15.7
イ 学校平均運営費	千円	1,815	1,767	2,115	2,317
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
報償費 147千円	国庫支出金	千円				
旅費 122千円	県支出金	千円				
需用費 13,391千円	地方債	千円				
役務費 839千円	その他	千円				
使用料及び賃借料 237千円	一般財源	千円	12,705	12,420	14,805	13,904
原材料費 30千円	事業費計	千円	12,705	12,420	14,805	13,904
備品購入費 39千円						

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	学校に必要な消耗品(管理・教材用)等が購入できている。
② 事業実施するうえでの課題	学校予算の配分方法について、検討が必要。学校経営という視点で考えると、一元管理を行っている光熱水費等については、学校でのコスト意識が薄く、増加傾向にある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	学校事務共同実施の取組等、学校事務職員間で予算の活用方法等について情報共有を図り、効率的な運営を図る。